

平成28年10月24日

厚生労働副大臣
自由民主党
診療放射線技師制度に関する懇話会
事務局長 橋本 岳 殿

日本診療放射線技師連盟 理事長
公益社団法人日本診療放射線技師会 会長
中 澤 靖 夫

要 望

日本診療放射線技師会（以下 本会）は国民に対する医療安全の確保、医療技術を適切に提供するための環境整備、がん対策基本法にも十分に対応すべく疾患の早期発見、早期治療に寄与する観点等を踏まえ専門技術の向上・医療安全の推進を行っております。

診療放射線技師が国民の信頼に応え、医療及び公衆衛生の向上に寄与するため、診療放射線技師の活用について、下記の事項を要望いたしますので、ご検討いただきたく、何卒ご高配賜りますようお願い申し上げます。各事項の要望詳細は、別添にお示しいたします。

記

1. がん対策推進基本計画に基づく診療放射線技師育成の充実および環境整備
2. 養成教育の4年制大学化及び参加型臨床実習の実現
3. 国家試験委員の構成について
4. 医学物理士のあり方について
5. チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用
6. 医療安全のための適切な管理体制の構築
 - 1) 医療放射線による被ばくの管理体制
 - 2) 放射線関連医療機器の管理体制
 - 3) 画像データの管理体制
7. 緊急被ばく並びに医療被ばくに対応するための専門官の配置
8. 放射線の教育・普及啓発活動に対する診療放射線技師の活用
9. 診療放射線技師法の改正
10. ワーク・ライフ・バランスについて

以上